



2022年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月1日

上場会社名 東北化学薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7446 URL <https://www.t-kagaku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 康之
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理グループ長 (氏名) 磯辺 譲 (TEL) 0172-33-8131
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年9月期第3四半期の連結業績(2021年10月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第3四半期	27,901	2.6	763	33.5	814	33.9	538	25.9
2021年9月期第3四半期	27,204	19.6	571	176.4	608	142.6	427	50.5

(注) 包括利益 2022年9月期第3四半期 372百万円(△36.3%) 2021年9月期第3四半期 585百万円(160.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年9月期第3四半期	596.99	—
2021年9月期第3四半期	467.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年9月期第3四半期	15,032	6,561	43.2	7,201.99
2021年9月期	16,128	6,281	38.6	6,829.86

(参考) 自己資本 2022年9月期第3四半期 6,489百万円 2021年9月期 6,228百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年9月期	—	0.00	—	105.00	105.00
2022年9月期	—	0.00	—	—	—
2022年9月期(予想)	—	—	—	90.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年9月期の連結業績予想(2021年10月1日~2022年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,500	△2.0	680	△4.6	729	△3.9	471	△8.8	521.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年9月期3Q	960,000株	2021年9月期	960,000株
② 期末自己株式数	2022年9月期3Q	58,977株	2021年9月期	47,977株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年9月期3Q	902,836株	2021年9月期3Q	915,612株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、企業収益の悪化や個人消費の減速などありましたが、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進んでいるものの、新たなオミクロン株などにより感染状況は未だ改善されておられません。景気は持ち直しに向かうものの、国内外の新型コロナウイルス感染症の動向やロシアによるウクライナ侵攻により世界で緊張が続くなど、先行き不透明な状況が続いており、予断を許さない状況にあります。

このような経済状況の中で、当社グループはビジネス環境の変化に対応するため体質を強化し、積極的な営業活動をしてまいりました。

この結果、前年同四半期と比べ、売上高は、279億1百万円と6億97百万円（前年同四半期比2.6%）の増収、営業利益は、7億63百万円と1億91百万円（前年同四半期比33.5%）の増益、経常利益は、8億14百万円と2億5百万円（前年同四半期比33.9%）の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、5億38百万円と1億11百万円（前年同四半期比25.9%）の増益となりました。なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等の適用により、当第3四半期連結累計期間の売上高は1億42百万円増加しております。

各セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

(化学工業薬品)

化学工業薬品は、主力であります半導体を含むエレクトロニクス産業が引き続き堅調に推移し、前年同四半期を上回りました。また、同関連機器は、収益認識会計基準等の適用により、前年同四半期を下回りました。この結果、売上高は、全体で137億57百万円と3億15百万円（前年同四半期比2.3%）の増収、セグメント利益(売上総利益)は、12億9百万円と1億43百万円（前年同四半期比13.4%）の増益となりました。なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は86百万円増加しております。

(臨床検査試薬)

臨床検査試薬は、競争激化の影響もありましたが、新型コロナウイルス感染症関連の検査試薬が増加したことなどにより、前年同四半期を上回りました。また、同関連機器は、収益認識会計基準等の適用により、前年同四半期を下回りました。この結果、売上高は、全体で113億86百万円と4億79百万円（前年同四半期比4.4%）の増収、セグメント利益(売上総利益)は、11億50百万円と1億21百万円（前年同四半期比11.8%）の増益となりました。なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は54百万円増加しております。

(食品)

食品は、原料不足や新型コロナウイルス感染症による製造量減少などの影響により、前年同四半期を下回りました。この結果、売上高は、24億39百万円と84百万円（前年同四半期比△3.3%）の減収、セグメント利益(売上総利益)は、1億85百万円と12百万円（前年同四半期比△6.5%）の減益となりました。なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は1百万円増加しております。

(その他)

その他は、花き、種苗等が減少したことにより、前年同四半期を下回りました。この結果、売上高は、3億18百万円と12百万円（前年同四半期比△3.9%）の減収、セグメント利益(売上総利益)は、リバートの減少もあり37百万円と4百万円（前年同四半期比△10.3%）の減益となりました。なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は0百万円増加しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、10億95百万円減少し、150億32百万円となりました。また、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、13億75百万円減少し、84億70百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、2億79百万円増加し、65億61百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

(資産)

資産の減少の主な要因は、現金及び預金が4億53百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が11億96百万円及び投資有価証券が2億80百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債の減少の主な要因は、支払手形及び買掛金が11億12百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産の増加の主な要因は、その他有価証券評価差額金が1億86百万円減少したものの、利益剰余金が4億81百万円増加したことによるものであります。なお、収益認識会計基準等の適用により、利益剰余金は38百万円増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済につきましては、景気の回復は不透明であり、当社を取り巻く事業環境は依然として厳しいものと予想されます。第3四半期までの業績動向を踏まえ、2021年11月12日に公表した通期予想に関しては、下記のとおり修正いたします。

2022年9月期での業績予想につきましては、エレクトロニクス産業が引き続き堅調に推移し、また大学・試験研究機関、医療関連等ライフサイエンス分野も好調であったことにより関連の試薬、工業薬品や機器等の受注が増加したことにより、売上高は前回公表予想を上回りました。また、経費節約の効果も出て、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が前回公表予想を上回りました。

売上高は、338億円から355億円(5.0%)、営業利益は、5億78百万円から6億80百万円(17.5%)、経常利益は、6億11百万円から7億29百万円(19.3%)、親会社株主に帰属する当期純利益は、4億33百万円から4億71百万円(8.7%)に変更しております。

なお、配当につきましては、今後の事業状況を踏まえて検討していくこととし、現時点の配当予想は修正ございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	799,184	1,252,623
受取手形及び売掛金	8,528,957	7,332,896
電子記録債権	205,909	270,934
商品	1,030,432	1,128,708
リース投資資産	128,231	122,379
その他	310,284	273,883
貸倒引当金	△1,875	△2,483
流動資産合計	11,001,124	10,378,942
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	505,459	486,260
土地	1,495,006	1,495,006
リース資産（純額）	141,669	137,877
その他（純額）	320,751	329,758
有形固定資産合計	2,462,885	2,448,903
無形固定資産		
リース資産	13,904	3,476
ソフトウェア仮勘定	—	21,450
その他	8,292	8,833
無形固定資産合計	22,197	33,760
投資その他の資産		
投資有価証券	1,710,775	1,430,681
リース投資資産	200,674	113,119
その他	756,285	652,943
貸倒引当金	△25,372	△25,753
投資その他の資産合計	2,642,363	2,170,990
固定資産合計	5,127,446	4,653,653
資産合計	16,128,570	15,032,596

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,811,196	6,698,876
電子記録債務	285,833	358,315
短期借入金	156,200	97,400
1年内返済予定の長期借入金	14,280	14,280
リース債務	179,529	159,274
未払法人税等	137,276	112,150
賞与引当金	57,450	12,300
その他	256,280	240,903
流動負債合計	8,898,046	7,693,500
固定負債		
長期借入金	55,970	45,260
リース債務	308,671	219,556
繰延税金負債	310,294	244,552
退職給付に係る負債	99,801	94,389
役員退職慰労引当金	123,541	128,760
その他	50,532	44,891
固定負債合計	948,811	777,411
負債合計	9,846,857	8,470,912
純資産の部		
株主資本		
資本金	820,400	820,400
資本剰余金	881,100	881,100
利益剰余金	3,894,043	4,375,582
自己株式	△133,566	△168,907
株主資本合計	5,461,977	5,908,175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	771,562	584,848
退職給付に係る調整累計額	△4,551	△3,867
その他の包括利益累計額合計	767,011	580,981
非支配株主持分	52,724	72,527
純資産合計	6,281,712	6,561,684
負債純資産合計	16,128,570	15,032,596

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2022年6月30日)
売上高	27,204,004	27,901,693
売上原価	24,869,424	25,319,443
売上総利益	2,334,579	2,582,250
販売費及び一般管理費	1,762,627	1,818,758
営業利益	571,951	763,491
営業外収益		
受取利息	2,242	2,295
受取配当金	26,167	34,559
受取手数料	6,829	6,895
その他	5,317	10,954
営業外収益合計	40,557	54,705
営業外費用		
支払利息	739	1,318
支払手数料	1,902	2,244
その他	1,662	447
営業外費用合計	4,304	4,010
経常利益	608,204	814,187
特別利益		
固定資産売却益	—	26
投資有価証券売却益	13,332	206
投資事業組合運用益	12,036	1,446
特別利益合計	25,369	1,679
特別損失		
固定資産除却損	81	114
投資有価証券売却損	16	—
投資有価証券評価損	21,054	29,380
その他	374	—
特別損失合計	21,527	29,494
税金等調整前四半期純利益	612,046	786,372
法人税、住民税及び事業税	152,578	212,302
法人税等調整額	13,663	15,151
法人税等合計	166,241	227,454
四半期純利益	445,805	558,917
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,863	19,930
親会社株主に帰属する四半期純利益	427,941	538,987

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	445,805	558,917
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	138,298	△186,713
退職給付に係る調整額	1,292	683
その他の包括利益合計	139,591	△186,029
四半期包括利益	585,396	372,887
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	567,486	353,084
非支配株主に係る四半期包括利益	17,910	19,802

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

・代理人取引に係る収益認識

保守に係る収益について、従来は、顧客から受け取る対価の総額で収益を認識しておりましたが、顧客に移転する財又はサービスを支配しておらず、これらを手配するサービスのみを提供しているため、代理人取引であると判断した結果、総額から第三者に対する支払額を差し引いた純額で収益を認識する方法に変更しております。

・一時点で充足される履行義務

保守に係る収益について、従来は、一定の期間にわたり充足される履行義務として収益を認識しておりましたが、財又はサービスを顧客に移転し当該履行義務が充足された一時点で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用につきましては、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は142,287千円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は38,314千円増加しております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,441,968	10,907,021	2,523,727	331,286	27,204,004	—	27,204,004
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	13,441,968	10,907,021	2,523,727	331,286	27,204,004	—	27,204,004
セグメント利益	1,066,573	1,028,654	197,847	41,503	2,334,579	—	2,334,579

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品	その他	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	13,757,668	11,386,330	2,439,249	318,445	27,901,693	—	27,901,693
外部顧客への売上高	13,757,668	11,386,330	2,439,249	318,445	27,901,693	—	27,901,693
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	13,757,668	11,386,330	2,439,249	318,445	27,901,693	—	27,901,693
セグメント利益	1,209,642	1,150,355	185,015	37,236	2,582,250	—	2,582,250

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。